

経営比較分析表（令和元年度決算）

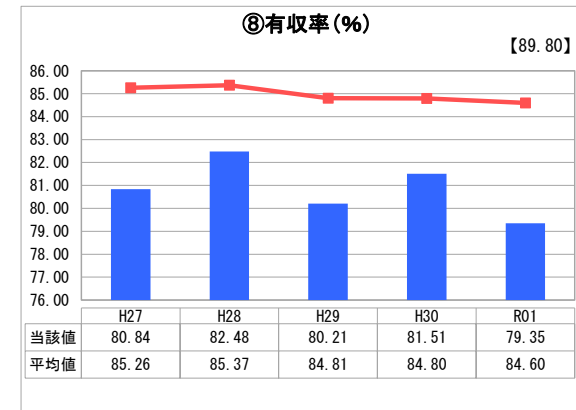
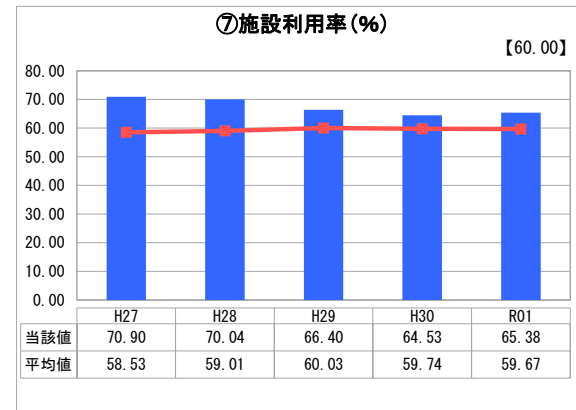
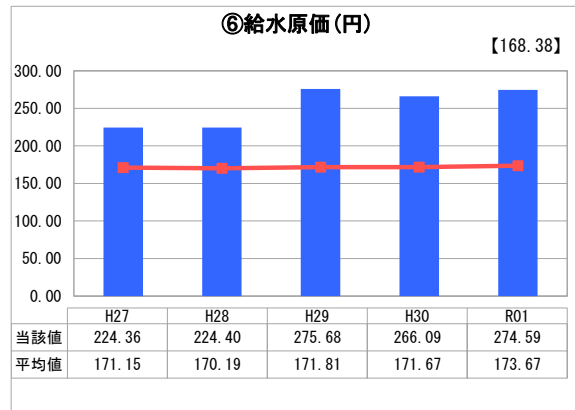
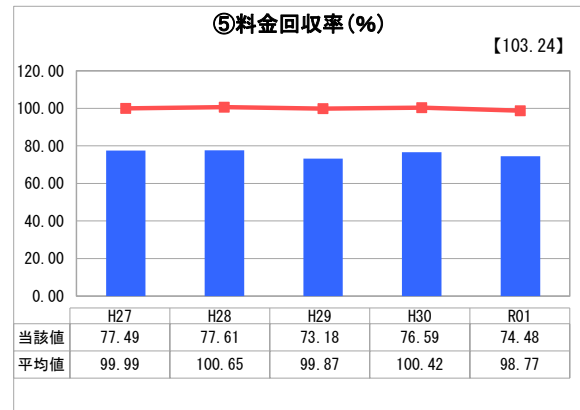
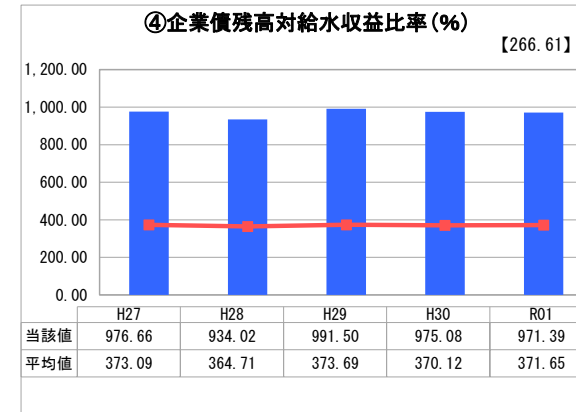
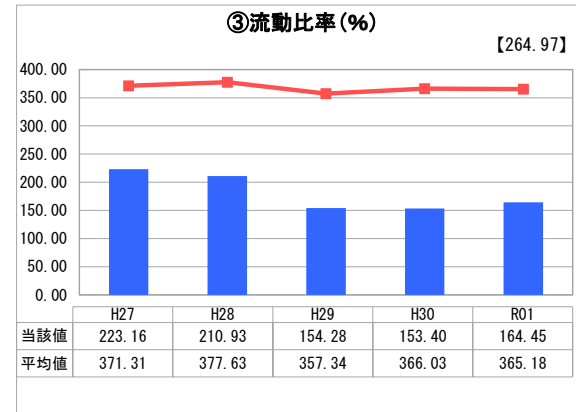
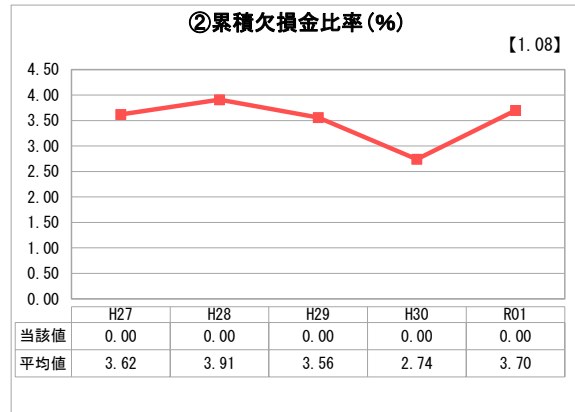
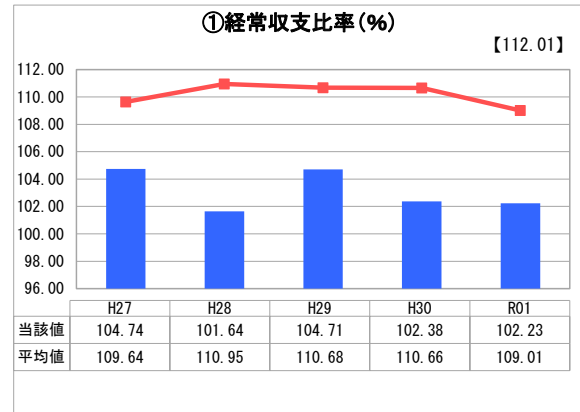
広島県 三次市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	62.02	87.69	3,681	

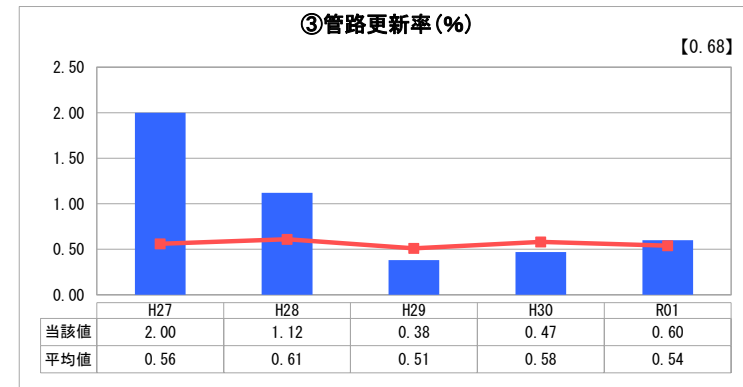
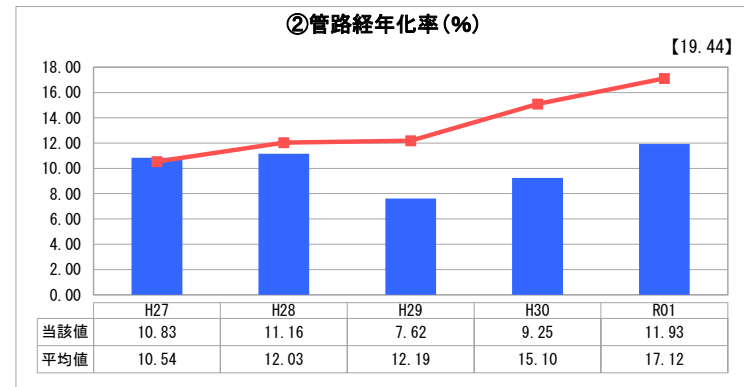
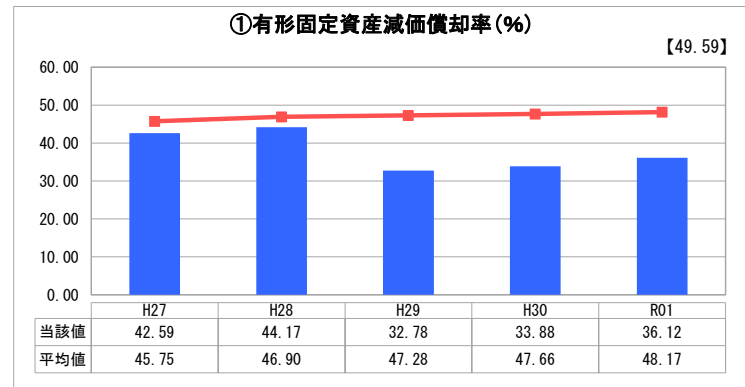
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
51,880	778.14	66.67
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
45,166	117.65	383.90

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①単年度収支は黒字で経常収支比率も100%以上を維持しているが、やや下降状況にある。料金回収率の改善に向け、料金体系を検討するとともに、引き続き経費節減に努め、給水収益の増加につながる加入促進活動に取り組んでいく。②流動比率は100%を超えており支払能力はあるが、流動資産の現金が減少傾向にある。③企業債残高対給水収益比率は、平成29年度に簡易水道事業と統合したことで企業債残高が増加し、全国・類似団体の平均値を上回っている。投資規模について検討する必要がある。④料金回収率は、料金改定を実施したものの簡易水道事業統合したことで回収率が下がり、全国・類似団体の平均値を大きく下回っている。毎年度の経営状況を確認しながら、給水原価に見合った適正な料金水準の設定について検討を行う必要がある。⑤給水原価は中山間地域特有の地形への配水により、全国・類似団体の平均値を上回っている。また、簡易水道事業統合したことで費用負担が増加しているため、施設の統廃合や長寿命化等を行うことで、経費節減に努める必要がある。⑦⑧施設利用率は全国・類似団体の平均値を上回っているが、有収率は平均値をはるかに下回っており、施設の稼働が収益につながっていないため深刻な問題であると考えている。今後も費用削減に向け、施設統廃合やダウンサイジング等を検討しながら、計画的に老朽管更新を実施する。併せて、漏水調査方法の改善や調査範囲の拡大により漏水箇所を特定し、速やかに修繕工事を行う必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は全国・類似団体の平均値を下回っており、簡易水道事業統合の影響で新しい資産が増加している。②③管路経年化率は、全国・類似団体の平均値を下回っているが、管路更新率は全国平均並みに増えている。今後、更新時期を迎える管路が更に増加することが見込まれるため、財源確保に努め、更新計画に基づき、計画的かつ効率的な更新に取り組む必要がある。また、更新にあたっては災害に強い耐久性のある管種を選定する必要もある。

全体総括

近年の人口減少などにより水需要は減少しており、今後も給水収益の大幅な増加は見込めず、老朽化した施設の増加などにより厳しい経営状況が続くものと推測している。簡易水道事業統合により、施設の維持管理経費等が増加しているため、水道料金の見直しや経営の健全化を更に進めていく必要がある。また、策定した「三次市水道事業ビジョン」に基づき、将来の水道事業の方向性を示すとともに、長期的な水道事業の政策課題の解決に向けた取組を行う必要がある。